

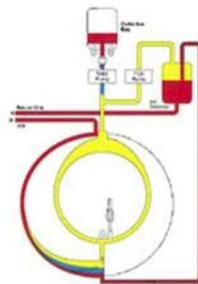
# 肝硬変症に対する自己骨髄細胞投与療法の概要



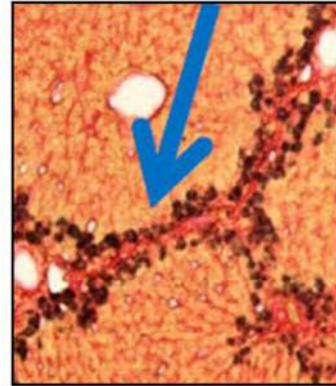
自己骨髄細胞採取(手術室)



血液成分分離装置を用いて  
閉鎖回路内で単核球分画の  
分離を施行



同日中に  
静脈から投与



投与された細胞が  
肝臓に定着  
(写真はマウスでの実験結果)



肝線維化が改善



有効例の肝CT像の変化:  
実施後(下)に腹水が減少し、  
肝臓の形態も正常に  
近付いた(山口大学)